

TRA12094-2 機械式ドーリージャッキ 取扱説明書

この度は、TRA12094-2 機械式ドーリージャッキをお買い上げいただきありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解した上でご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



TRA12094-2 機械式ドーリージャッキは自動車ショールームや工場内で移動するための工具です。本来の目的以外での使用は絶対にしないでください。

免責事項について

- ・ 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ 製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、逸失利益、事業の中断等）に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ この「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 当社が関与しない機器との組み合わせによる誤作動、故障等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

*注）メーカーの都合によりセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

安全に対する危険・警告・注意事項

作業者は必ず本製品を熟知した上でご使用ください。本説明書の警告・注意事項をよく読み、正しく理解してから使用してください。怠った場合、死亡または重傷等の重大な事故の危険があります。

危険

下記内容をお守りください。死亡または重症を負う原因になります。

ジャッキアップ中またはジャッキアップをした状態で、車両の下での作業は絶対にしないでください。死亡または重傷の危険があります。

警告

下記内容をお守りください。重症または重大な事故の原因になります。

- ・ この「取扱説明書」をよく読み、よく理解した上でご使用ください。また、ジャッキを熟知した専任の作業者以外での使用は絶対にしないでください。
- ・ 傾斜地・平坦でない床・硬質でない床での本製品の使用は絶対に使用しないでください。
- ・ ジャッキアップをする場合は、車両のタイヤに輪留めをしてください。
- ・ 事故車・故障車引き上げ等や車両の牽引には絶対にしないでください。
- ・ 車両の移動は2人以上で行い、慎重に動かしてください。
- ・ 可動部に指や体の一部を挟まないよう注意してください。
- ・ ジャッキの能力以上での使用は絶対にしないでください。
- ・ 分解・改造等をしないでください。異常や違和感がある場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

注意

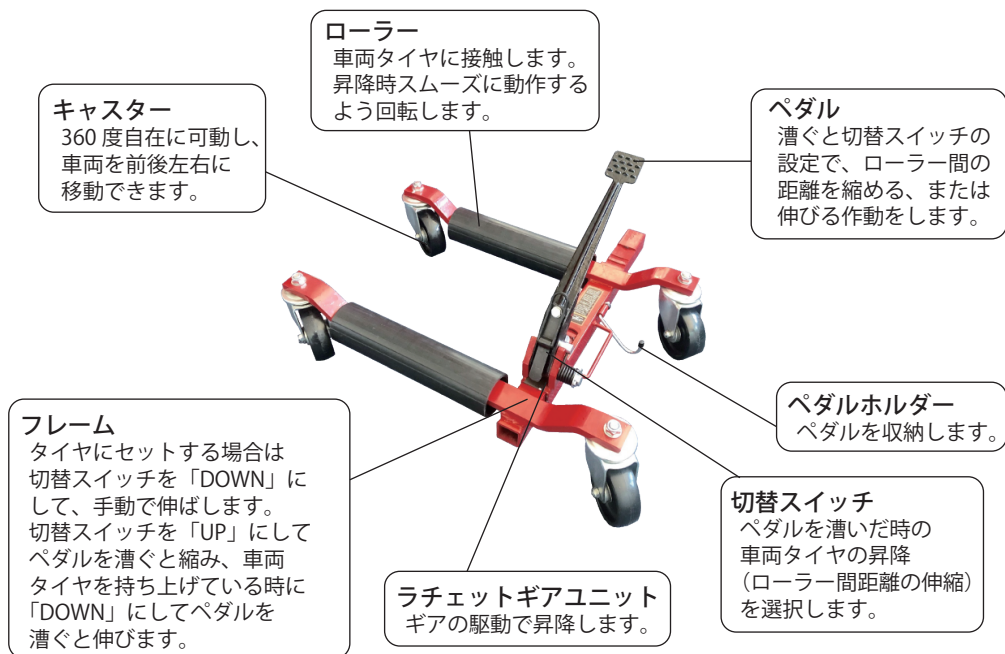
下記内容をお守りください。事故や故障の原因になります。

- ・ 使用前に、始業点検を行ってください。
- ・ ジャッキアップした車両は、人力で押して移動してください。
- ・ ジャッキアップ時はエンジンを始動しないでください。
- ・ ローラーは車両タイヤの適切な位置にかけてください。
- ・ 昇降は必ず、周りの安全を確認してから行ってください。また、下降時は切替スイッチを確実に切替え、ペダルをゆっくりと漕いで車両をゆっくりと下げてください。
- ・ 車両タイヤに対し、ローラーが垂直になるようにセットしてください。
- ・ 水気のある場所に放置、保管をしないでください。洗車時の使用や屋外での保管等は故障の原因になります。
- ・ ジャッキは4台1組で使用してください。
- ・ 自動車以外での使用は絶対にしないでください。

■ 日常点検・保管について

- ・ フレーム（ローラー間）を最縮、切替スイッチ「DOWN」、ペダルをペダルホルダーにかけた状態で保管してください。
- ・ 各可動部、摺動部は日常点検を行い、定期的に給油を行ってください。（フレーム、ホイール軸部等）
- ・ 水気の無い屋内で保管してください。
- ・ 汚れが付着した場合は、湿らせたウエス等でふき取ってください。
- ・ ラチェットギアユニットの部品やフレームのギア溝部が破損や摩耗していないか点検してください。
- ・ 作動に異常がある場合はお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

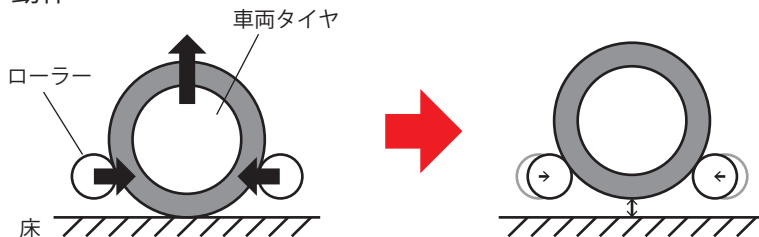
■ 各部名称・説明



■ 仕様 ※1台当たり

耐荷重	566 kg
ローラー間距離	260～620 mm
ローラー長さ(使用可能タイヤ幅)	300mm
キャスター直径	100mm
重量	16kg

■ 基本動作



- ローラーの間に車両タイヤをセットして、ローラーどうしを内側に挟み込むことで、車両タイヤを床から持ち上げることができます。
- キャスターは360度自在に動くため、車両を前後左右どの方向でも移動することができます。ショールームの展示車やピット内のの修理車の移動に適しています。



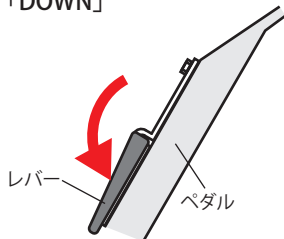
作業時の注意

- ・ ラチェットギアユニットやフレームのギア溝部に汚れや破損等の異常がないか確認してください。
- ・ 車両を、以下の状態に設定してください。
○キーOFF ○ハンドルロック ○シフト「P」*M/Tの場合、1速 ○サイドブレーキON
- ・ 必ず傾斜の無い平坦な床で使用してください。傾斜があると車両が勝手に動き、挟まれたり人身事故の危険があります。また、段差や溝に引っかかるとジャッキが故障したり、外れて車両が落下する危険があります。
- ・ ジャッキ使用時はエンジンを始動しないでください。
- ・ 耐荷重以上の重量がある車両には使用しないでください。
- ・ ローラーの長さを超える太いタイヤやダブルタイヤを装着した車両には使用しないでください。
- ・ 極端に車高の低い車両には使用しないでください。
- ・ ジャッキの接続が困難な場合は無理に使用しないでください。

■ 切替スイッチについて

ペダルのレバーを「DOWN」・「UP」のいずれかに切り替えることによってペダルを漕いだ時に上昇・下降の作動選択ができます。

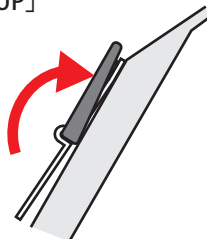
「DOWN」



ペダルを漕ぐとローラー間の距離が広がり、車両タイヤを降ろします。

* 負荷がかかっていない状態では、ギアが噛まない状態になり、フリーに可動します。

「UP」



ペダルを漕ぐとローラー間の距離が縮まり、車両タイヤを持ち上げます。

* 負荷がかかっていない状態では、広がり方向にロックします。

■ 使用方法

《 上昇（車両タイヤの持ち上げ） 》

1. 切替スイッチを「DOWN」にして、手でローラーを広げてください。
2. 車両外側からローラーを車両タイヤに挟むようにセットしてください。
3. ペダルをローラーが車両タイヤに接触するまで手でローラー間を縮めてください。
4. 車両タイヤとローラーがまっすぐに接触していることを確認してから切替スイッチを「UP」にして、ペダルを漕いで車両タイヤを持ち上げます。ある程度持ち上がったら、ペダルを踏み込んだ状態でペダルホルダーをかけてください。
5. 同様に他の車両タイヤを持ち上げてください。

《 下降（ジャッキの取外し） 》

1. ペダルを踏み込んだ状態で、ペダルホルダーを解除して、ペダルから足を離してください。
2. 切替スイッチを「DOWN」にして、ペダルをゆっくりと漕いでください。車両タイヤが下がります。
3. 車両タイヤが接地したら、ジャッキを車両から外します。この時、ローラー間を手で少し広げてください。
4. 同様に他の車両タイヤからすべてのジャッキを取り外してください。
5. ジャッキを取り外したら、ジャッキを最縮状態にした後、収納してください。



株式会社レックス

〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#1871019